

令和5年度第1回保呂羽山少年自然の家協働会議 会議録【要旨】

1 日時・場所

令和5年4月25日（火） 午後1時30分から

保呂羽山少年自然の家 1階 ジュピター（視聴覚室兼研修室）

2 出席者

(1) 委員 7名

阿部会長、高橋副会長、高橋委員、阿部委員、加藤委員、渡部委員、武市委員

(2) 秋田県教育庁生涯学習課 2名

中田課長、渡辺社会教育主事

(3) 保呂羽山少年自然の家 11名

丹所長、佐々木副主幹（兼）班長、小松田主任社会教育主事（兼）班長、北畠社会教育主事、渡辺社会教育主事、永澤社会教育主事補、佐藤主事、佐藤技能主任、伊藤非常勤栄養士、鈴木指導補助員、斎藤体験活動支援員

3 次第

(1) 所長あいさつ

(2) 委員及び職員紹介

(3) 会長及び副会長選出

(4) 会長あいさつ

(6) 議事

(7) 協議

(8) 生涯学習課長あいさつ

4 発言要旨

- ・ 工作やグラウンドゴルフ等、地元の高齢者と来所した子どもたちが触れ合える機会を作ってほしい。
- ・ 主催事業に関して、ホームページでは見る人が限定的で広く周知ができないのではないかと。学童クラブ等の関係機関にも年間計画のポスターの配布や情報共有を行えば、興味がある親子の目に触れ、よりPRできるのではないかと。
- ・ 雨天時でも普段経験できないことを体験できるような活動を充実させてほしい。
- ・ 防災とアウトドアは近い関係であり、アウトドアグッズが防災に役立つこともある。防災教育の一環として保呂羽山を利用するイベントも何か考えられるのではないかと。
- ・ 家族でアウトドアをやってみたい保護者もいると思う。そういった親子が気軽に参加できる企画があれば裾野が広がり、子どもたちの体験機会も増えるのではないかと。ファミリーキャンプはぜひ続けてほしい。